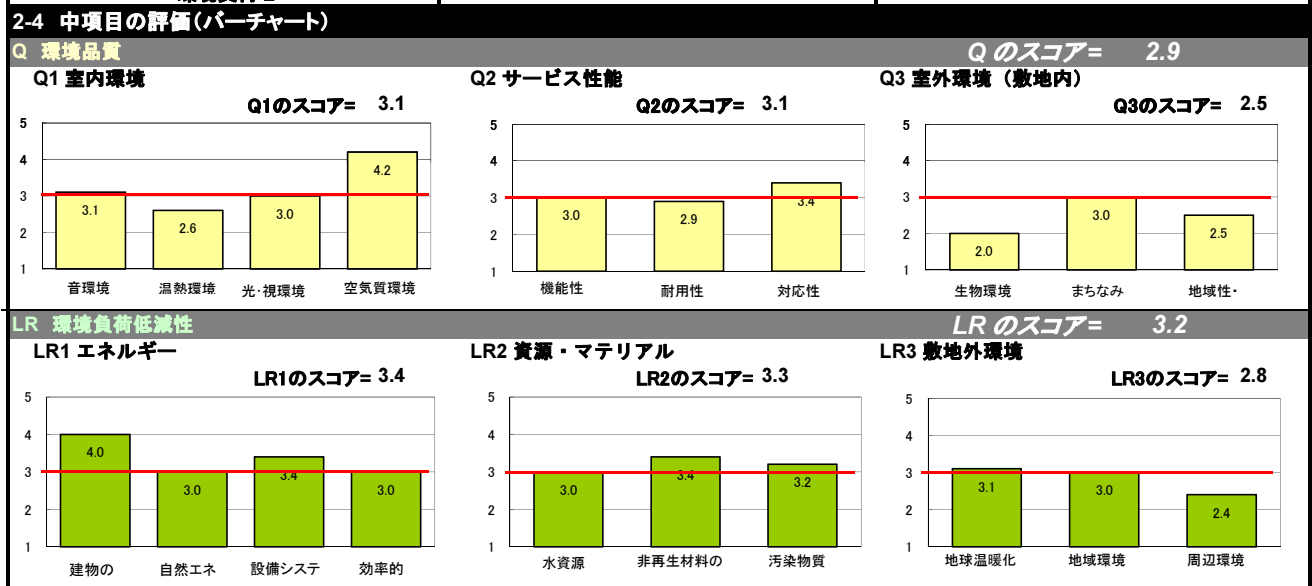
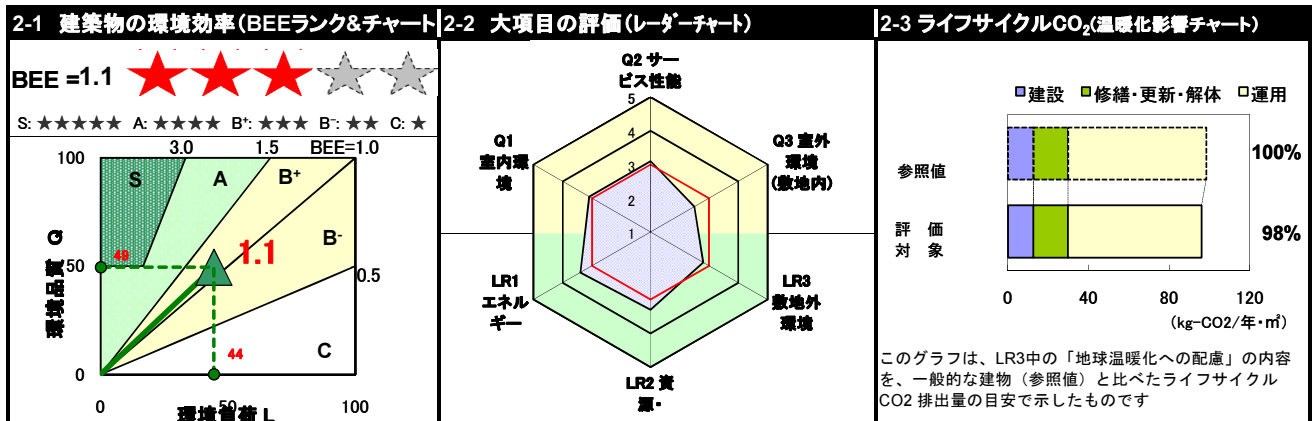


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都橋大学新教室棟	階数	地上3F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	市街地調整区域	平均居住人員	400 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,600 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年9月 予定	評価の実施日	2010年3月1日
敷地面積	71,520 m ²	作成者	
建築面積	1,113 m ²	確認日	2010年3月31日
延床面積	3,047 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 建物を東西軸に沿って配置。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 居室の壁は、遮音構造とし、又居室には、自然換気・自然採光を取る事ができる開口部を計画している。	Q2 サービス性能 高度情報化対応 バリアフリー	Q3 室外環境(敷地内) 近隣まちなみ景観への配慮 既存キャンパスとの意匠的な配慮。
LR1 エネルギー 省エネルギーを図るため、センサーによる照明制御、高効率照明器具の利用を行っている。	LR2 資源・マテリアル グリーン購入法適用品の活用。	LR3 敷地外環境 近隣住民が敷地内を通過出来るように、大学内通路を一部開放する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される